



興津地区より

可愛いお客さんたち来店！

興津保育所の園児たち

12月のある日、事務所の外から賑やかな声が聞こえてきました。興津保育所の園児たちが、元気一杯で事務所に来店です♪

恥ずかしがってお友達の後ろに隠れる小さな園児たち。少し年長の子は自分たちで手作りしたクリスマスの飾りをしっかりと手に持っています。引率の先生の声がけで、みんな揃って「お仕事ご苦労様です！いつもありがとう！」と大きな声で言いながら、その飾りをプレゼントしてくれました！ありがとうございます (^_^) /

思いがけない可愛い来客に、事務所の中は一足早い春が来たようでした。みんな、元気に大きくなってね！



自慢の作品たちを見に来てや～ (^^)

にしおか えいお
西岡 英男さん(78)

大野見で水稲、ブルーベリー、ユズ、お茶など多種にわたって栽培されている、明るく気さくな英男さん。昨年11月に開催された「大野見しんまいフェスタ大野見米コンテスト」では1位を受賞されました！

英男さんは農業を始める20年前、木工所に勤めていたそう。当時から木が好きで、木を使った彫刻などを作ったり、珍しいものを集めたりしていました。現在も農業の傍ら、さまざまな彫刻を作り、本物の鹿の角を使った鹿の作品は100個以上に突入！取材にお伺いするとその作品たちがたくさん詰まった素敵なお家でした♪

「今後はゲストハウスを作り、作品を展示して見学できるような施設を作りたい！！」と想いを語ってくれました。「またみんなで集まってお酒を飲みたい」と話す、お酒好きな英男さん (^_^) コロナが終息し、みんなで集まれる日が来るよう願っています。



大野見地区より



英男さん手作りの幸せを呼ぶ鹿です！



四万十地区より

チャレンジ精神を忘れずに！

いよき ひろまさ
伊与木 裕当さん(59)

四万十町大井野で水耕セリ14アールを栽培している笑顔が素敵な伊与木さん。元々石材屋で働いていましたが、叔父の土地があったこともあり6年前に水耕セリ栽培を始めました。

伊与木さんは、今年度から四万十水耕セリ部会の部会長を務められています！「水耕セリは毎年育ち方が違うから栽培が難しいけど、チャレンジ精神を忘れず今後も農業を続けていきたい！」と想いを語ってくださり、「今はなかなかできてないけど、前はバイクや写真を撮ることが好きやったで～」と笑顔で話してくれました (^_^)

冬になるとサラダだけでなく、お鍋などに大活躍するおいしい水耕セリをみんな楽しみに待っています♪



伊与木さんのハウスにお邪魔しました♪

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域 火災非常時の対応を学ぶ 防火訓練を実施



消火訓練を行う職員ら

11月下旬、四万十支所で、火災非常時の対応を学ぶため防火訓練を行いました。実習室からの火災発生を想定し避難。高幡消防組合四万十清流消防署の指導のもと、消火栓ホースの使い方や水消火器を使った消火訓練を行いました。武市孝広署員からは「発生から避難まで3分と迅速な対応が良かったです。煙が上に出るため建物の上階から確認をすることが大切」と講評しました。今後緊急時に対応できる体制を強化するため、訓練を定期的に行う予定です。

3 四万十地域 お正月を彩る生け花に挑戦



生け花を楽しむ女性部員

四万十地区女性部松葉川支部は12月26日、7人が参加し、松、南天、センリョウ、葉牡丹などの花を組み合わせた生け花に挑戦しました。同地区では年末に各支部で教室を開き、正月に飾る生け花を作ることが毎年恒例になっています。堅い松の枝などの調整に苦労しながらも、部員どうし教え合いながら1時間ほどでそれぞれの生け花が完成。参加した部員は「良いお正月を迎えられそう」と話し、華やかな生け花を楽しんでいました。



土佐田舎寿司を作る女性部員

1 四万十地域 伝承料理教室を開催

12月7日、四万十地区女性部は伝承料理教室を初めて開催しました。教室には各支部の役員12人が参加。第1回目は同女性部員を講師に、伝承料理である高知の山の幸を使った「土佐田舎寿司」作りを行いました。参加者は、玉子巻き、昆布巻き、海苔巻き、サバ寿司、リュウキユウの巻き寿司を計約50本完成させました。部員からは「このやり方でできちゆう？」などみんな教え合いながら田舎寿司を作り、和気あいあいとした料理教室となりました。



福永早苗部長は「コロナ禍で開催出来ずにいたが、今回やっと実現することができみんなの顔が見れてうれしく思います。今後も伝承料理教室を続けていきたいです」と話しました。

6 四万十・津野山地域 栽培反省会 (雨よけ・露地品目) の実施



エコ栽培米生産部会では令和4年度の出荷について意見交換が行われました。

高西地区管内の主に年内に生産出荷が終了する雨よけ・露地生産品目の部会では12月中、令和4年度の栽培反省会を実施し、販売状況や出荷実績を振り返りました。高西地区の品目部会は25品目ほどあり、その内の10品目ほどが雨よけ・露地品目となっています。令和4年度はコロナ禍や生産資材高騰の影響により生産面・販売面ともに厳しい状況となっており、反省会では来期に向けた栽培技術の改善や販売促進の計画などについて意見が交わされました。年明けから始まる、土作りや施肥などをしっかりと行い、良作目指して取り組んでいきます。

4 津野山地域 土壌消毒試験実施



バスマミドを散布しています。

津野山なす部会では、青枯病の多発生圃場での発病率の低下が課題となっており、これまでもクロピクフロアにより防除を行っていましたが、近年はその効果も芳しくない状況が続いています。そこで今回は農業メーカーのアグロカネシヨウさんの協力をいただき、バスマミドでの土壌消毒を実施した上でピクリン処理を行い、病原菌の推移を見るための試験を行っています。1月に入り、対象圃場ではバスマミドを散布し、耕耘とボリでの被覆を行いました。圃場で作業をした生産者は「普段より早く準備が必要だったが、2段階で何とかが発病がおさまってくれたら」と期待の声が聞かれました。



急須でお茶を注ぐ子供たち

2 津野山地域 小学生が急須を使って お茶入れ体験

12月7日、津野山営農経済センターは津野町立中央小学校三年生を対象にお茶の淹れ方について出前授業を行いました。地域の子どもたちに地元の特産品であるお茶について学習してもらい、生産されるお茶の美味しさや魅力を再確認してもらったため毎年、授業を行っています。春にはお茶摘みから釜炒り茶づくり、茶工場を見学。今回の授業では、おいしいお茶の淹れ方や効能について説明し、実際に急須を使ってお茶の淹れ方を実践しました。

子供たちは温度や抽出時間などで味がどのように変化するか確認した後、かぶせ茶パウダーをカルピスに入れる「チャルピス」づくりを体験しました。子供たちからは「お湯の温度を70℃くらいにして淹れたら、渋みが少ないお茶になっておいしい」との声が聞かれ、土佐茶のおいしさを実感してもらいました。

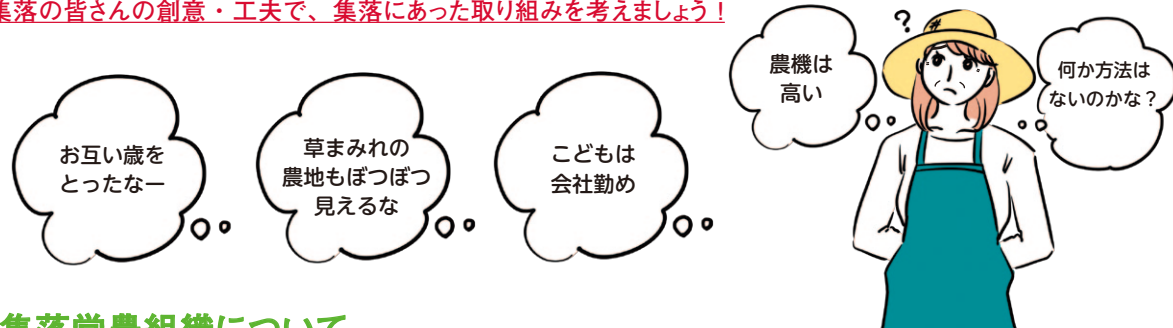
津野山地域より

集落営農に取り組んでみませんか

■集落営農とは？

集落営農とは、集落全体で農地の有効利用や農作業の効率化について話し合い、集落の合意に基づき農地の利用調整や機械の共同利用、作業受委託などを進め、**集落の営農を続ける取り組み**です。

集落の皆さんの創意・工夫で、集落にあった取り組みを考えましょう！



■集落営農組織について

「集落営農」に取り組む組織を、「集落営農組織」といいます。集落営農組織は、機械の所有、活動内容により、4つに分かれます。

集落営農組織のタイプ	
<ul style="list-style-type: none"> 共同所有機械を参加農家が利用する形態 作業は参加農家が個別に実施 	I 共同作業・共同利用型
<ul style="list-style-type: none"> 機械を専任オペレーターが使い、作業を組織に委託する形態（機械は共同所有） 作業は組織が受託 	IIの1 作業受委託型 組織機械保有型
<ul style="list-style-type: none"> 機械を専任オペレーターが使い、作業を組織に委託する形態（機械は個人所有） 作業は組織が受託 	IIの2 作業受委託型 個人機械保有型
<ul style="list-style-type: none"> 機械を専任オペレーターが使い、作業を含む生産を組織が実施（機械は組織所有） 	III 協業経営型（法人）

「集落営農組織」は高知県内に221組織あります。（R4年10月現在）
以下の5点の条件等を満たせば、「集落営農組織」となります。

- 1 集落ビジョン、組織の規約等がある
- 2 集落内のおおむね過半数の農家が組織に参加
- 3 総会を年1回以上開催
- 4 事業計画書（又は営農計画書）を作成している
- 5 総会を開き、収支計画の策定及び実績の報告をしている



■集落営農は話し合いが大切です

集落営農は、農地を所有している、又は耕作をしている皆さんが集まって、話し合うことから始まります。
まず、話し合いを始めてみませんか！

組織化することで、農機導入等に活用できる国、県の補助事業があります。お気軽にご相談ください。

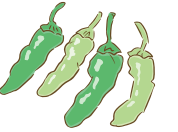
◎お問い合わせ先

須崎農業振興センター 担当：横山・隅田・矢野 (TEL.0889-42-3255)
JA高知県津野山営農経済センター 担当：氏原・中越 (TEL.0889-62-3501)



四万十地域より

露地シシトウ栽培者募集



■シシトウ研究会より

JA高知県四万十管内では、平成19年にシシトウ栽培の高位平準化を目指し、シシトウ研究会の活動がスタートしました。シシトウは収穫重量が軽く女性や高齢者の方でも取り組みやすく、また栽培面積が少なくても所得の上がる品目です。ぜひ皆さんもシシトウ栽培に挑戦してみませんか？



【1a/60本当たりの生産収支】 ~露地~

収入	出荷数量 (バック)	3,480
	平均単価 (円/バック)	138
	精算金額 (円)	480,240

※過去2年の平均数値を簡略参照しています。

費用 (初年度)	苗代 (60本)	14,900
	肥料代	23,000
	農薬代・資材代	100,000
	出荷経費	100,000
	合計	237,900

初年度は、灌水設備やバック溶着器などが必要ですが、2年目以降は費用が半分以下まで抑えられます。

栽培管理・天候によって収入や農薬代・肥料代などの費用は変化するので、あくまで目安となっております。

栽培について興味がある方は、2月末までに JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課 TEL.0880-22-5179 山脇 までご連絡をお願い致します

青色申告に取り組みませんか？

~説明会のご案内~

「青色申告」は、日々の取引を記帳し帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面で様々な特典を受けることができる大変おすすめの制度です。

また、新しく導入された収入保険制度においても、青色申告を行っている事が加入条件とされております。**今年から青色申告を開始される方は、令和5年3月15日までに税務署への申請書提出が必要となります。**

下記の日程で青色申告について説明会を開催いたします。

日時 令和5年2月28日（火）13時～15時

場所 四万十営農経済センター 2階 大会議室

※予約制となっておりますのでご希望される方は下記連絡先まで事前にご連絡をお願い致します。



お問い合わせ先 JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課
担当 河野 TEL.0880-22-5179

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

橋寄りて川面ゆらめく冬の月
雨降りて稽田にわか蘇り

市川 和美

風向きに潮の匂ひも袖子の香も
薄ら陽を追ひ冬の蝶庭に舞ふ

長谷部 延子

落葉径一人つぶやくセレナーデ
寄せ鍋や昔なつかし大家族

今橋 孝子

しとしと雨の降りける秋の朝
朝ごとにささんかの花咲くごとし

竹内 春猪

冬の海ダルマ夕陽に感動す
積雪に喜び走る犬散歩

田中 信子

短歌

窪川短歌教室

逝く友の葬りというに青空を舞いいるとんび涙は知らぬ

竹田 和子

もう辞めて家でゆっくりして欲しい失言多き元総理森さん

中内 佐登美

NHK杯フィギアを観つつ思いおりロシアのすぐれた選手たちのこと

島岡 紀美

ほのかなる桂香にひかれ飛び来たるアサギマダラのゆるき羽ばたき

市川 隆子

精一杯笑はせくるる芸人の下積み語る先輩芸人

黒岩 やよえ

裏山より秋呼ぶ風が入りし朝庭に飛び出て深呼吸する

北村 さちこ

川底の砂の紋まで透きて見え吾を旅人にする四万十の秋

市川 浩子

コスモスの色とりどりに揺れていて色とりどりに女が笑う

文野 見枝子

俳句

送られて袖の香るか長湯かな

(津野町・村田 三喜子)

北山の雪解け間近鳥の声

(津野町・弘瀬 秀頼)

初雪に小猫泣く跡親辿る

(椿原町・松山 松美)

短歌

幼きの吾子らくるみしベビー毛布今は凍夜の蛇口をくるむ

(四万十町・川上恭子)

おたよりから

INFORMATION

お知らせ



献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

無資格・未経験OK！ JA葬祭と一緒に働きませんか！

仕事内容の一部の具体例

- 葬儀会場での接客
- 葬儀の準備や片付け など
- お通夜等 3,000円 ～ (2時間半程度)
- お葬儀 5,000円 ～ (4時間程度)

～ 地域に根差した葬祭会館へ ～

私達は、JA組合員の皆様を中心として地域に根差したご葬儀一切のお世話をさせていただきます。安心と信頼でご満足いただけるご葬儀を行っています。

※詳しくは下記までお問い合わせください※

JAメモリアルこうち四万十営業所 (JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7 TEL 0880-22-5900